

平成29年度

教育委員会事務事業点検・評価報告書

(平成28年度分)

河北町教育委員会

(平成29年9月)

目 次

I	河北町教育委員会事務事業の点検・評価について	1
1	制度の概要及び目的	1
2	点検・評価の対象事業	1
3	点検・評価の方法	1
4	学識経験者の知見の活用	1
II	教育委員会の活動状況	2
1	総合教育会議の開催	2
2	教育委員会（協議会）の開催	2
3	教育委員会会議以外の活動	3
4	教育委員の報酬	3
III	施策の体系	4
IV	外部評価委員の意見	5
V	点検・評価対象事業一覧	8
	【点検・評価の結果（事務事業点検・評価調書）】	10

I 河北町教育委員会事務事業の点検・評価について

1 制度の概要及び目的

教育委員会は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」により毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について自ら点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表しなければならないことになっています。

また、この点検・評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされています。

この法律を受け、河北町教育委員会では、効果的な教育行政の推進に資するとともに町民に対する説明責任を果たすため、前年度に行った事務事業について、3名の外部評価委員の方々の意見をいただきながら点検・評価を実施し、その結果を報告書としてまとめました。

【参考】

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検・評価の対象事業

点検・評価は、平成28年度に実施した教育委員会所管の事業のうち、教育振興計画との関連に視点を置き、事業費の額及び町民への周知の必要性等を考慮して選定した主要な事業を対象に実施しています。

3 点検・評価の方法

各事業について「必要性」、「効率性」及び「有効性」等の観点から総合評価したうえで、今後の方向性として、「拡充」、「継続」、「縮小」、「見直し」及び「休廃止」に区分して明らかにしました。そしてその内容は、事業ごとに「事務事業点検・評価調書」としてまとめています。

4 学識経験者の知見の活用

教育委員会が行った点検・評価についてその客観性を確保するため、3名の学識経験を外部評価委員として委嘱し、点検・評価の内容について意見をいただきました。

河北町教育事務評価委員

氏 名	役 職 名 等
佐藤 正弘	学識経験者
斎藤 健一	学識経験者
大沼 恵美子	学識経験者

II 教育委員会の活動状況

1 総合教育会議の開催

開催日	協 議 件 名
5月 6日	第2次河北町教育振興計画の策定について
8月25日	第2次河北町教育振興計画の策定について
12月22日	第2次河北町教育振興計画について
3月28日	河北町「教育、学術及び文化等の振興に関する施策の大綱」について

2 教育委員会（協議会）の開催

(1) 会議

- ・委員会 11回
- ・協議会 2回
- ・議案 23件
- ・協議 32件

開催日	区 分		議 案 協 議 件 名
4月21日	委員会	議案	平成28年度準要保護児童の追加認定について
		協議	平成29年度西村山地方開発重要事業要望書（案）外4件
5月26日	委員会	議案	各種委員の委嘱についての専決処分について外3件
		協議	平成28年度6月補正予算について外2件
6月23日	委員会	議案	平成27年度河北町教育委員会の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を実施する学識経験者の委嘱について
		協議	第60回山形県市町村教育委員会大会について外1件
7月21日	委員会	議案	各種委員の委嘱についての専決処分について外2件
		協議	運動会・体育祭日程について
8月25日	委員会	議案	平成28年度準要保護児童の認定取消について外2件
		協議	平成27年度分の教育委員会事務事業点検・評価報告書について外2件

9月21日	協議会	協議	平成27年度分の教育委員会事務事業点検・評価報告書について外1件
10月20日	委員会	議案	平成28年度準要保護児童の認定取消について
		協議	第2次河北町教育振興計画の進捗状況について外1件
11月24日	委員会	議案	平成28年度準要保護児童の追加認定について外2件
		協議	財政計画及び実施計画について外4件
12月22日	委員会	議案	平成28年度準要保護児童の認定の取消について
		協議	第2次教育振興計画について
1月26日	協議会	協議	第2次教育振興計画について外2件
2月23日	委員会	議案	第2次河北町教育振興計画について外1件
		協議	3月補正予算について外3件
3月7日	委員会	議案	平成29年度河北町立小中学校教職員人事異動内申について
		協議	平成29年度教育委員訪問の日程について
3月28日	委員会	議案	平成28年度河北町教育委員会事務局職員の異動承認について外2件
		協議	教育委員会日程について

3 教育委員会会議以外の活動

(1) 学校訪問

実施日	実施校	実施日	実施校
6月14日	溝延小学校	6月23日	河北中学校
6月27日	谷地中部小学校	7月1日	北谷地小学校
10月18日	谷地西部小学校	11月11日	西里小学校
11月24日	谷地南部小学校		

(2) その他調査・研修活動・会議等

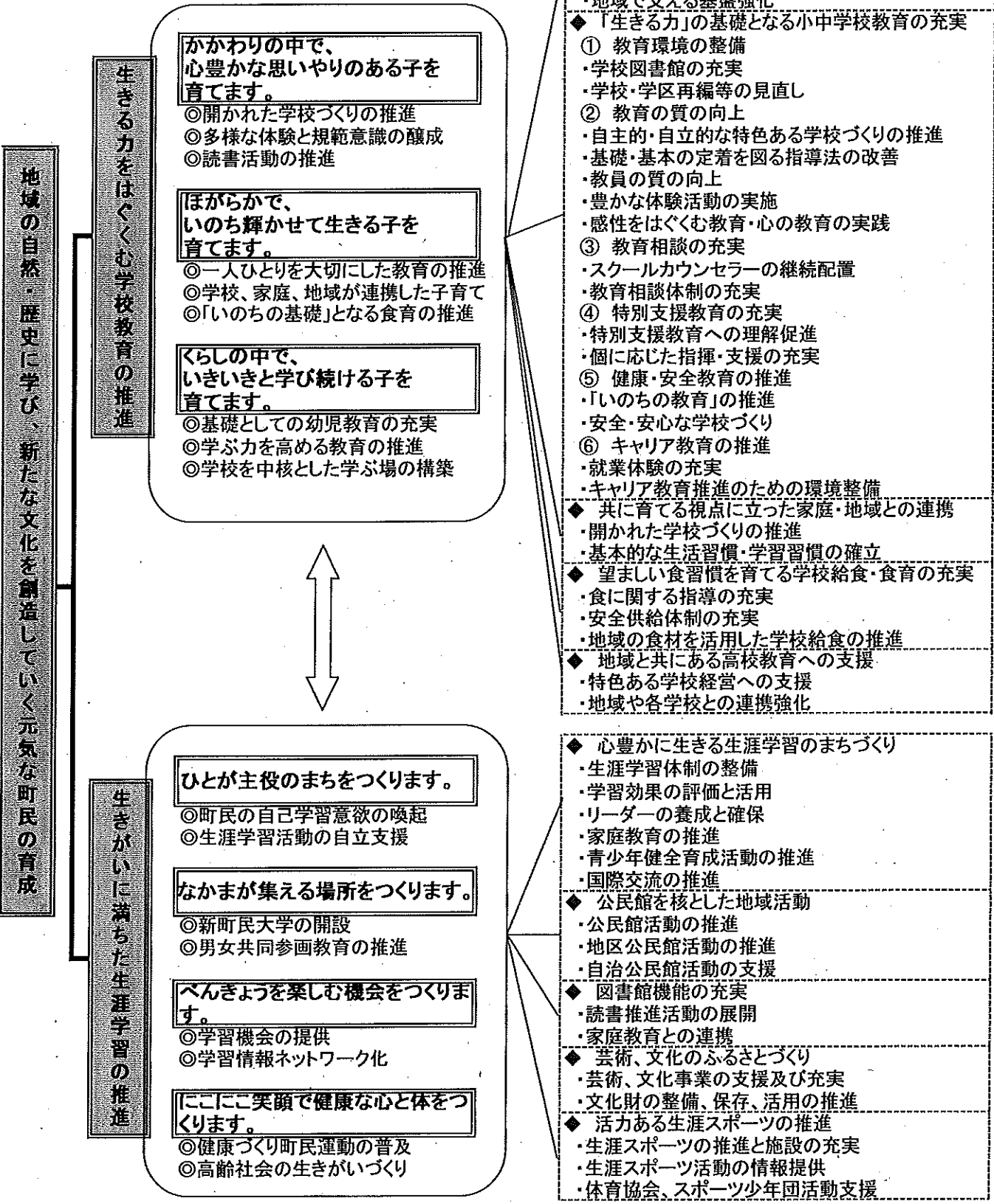
- (ア) 調査・研修 23件
- (イ) 会議 2件

4 教育委員の報酬

(年) 243,000円

III 施策の体系

河北町教育振興計画 施策の体系



生きる力をはぐくむ学校教育の推進

生きがいに満ちた生涯学習の推進

地域の自然・歴史に学び、新たな文化を創造していく元氣な町民の育成

かかわりの中で、心豊かな思いやりのある子を育てます。

- ◎開かれた学校づくりの推進
- ◎多様な体験と規範意識の醸成
- ◎読書活動の推進

ほがらかで、いのち輝かせて生きる子を育てます。

- ◎一人ひとりを大切にされた教育の推進
- ◎学校、家庭、地域が連携した子育て
- ◎「いのちの基礎」となる食育の推進

くらしの中で、いきいきと学び続ける子を育てます。

- ◎基礎としての幼児教育の充実
- ◎学ぶ力を高める教育の推進
- ◎学校を中核とした学ぶ場の構築

ひとが主役のまちをつくります。

- ◎町民の自己学習意欲の喚起
- ◎生涯学習活動の自立支援

なかまが集える場所をつくります。

- ◎新町民大学の開設
- ◎男女共同参画教育の推進

べんきよつを楽しむ機会をつくります。

- ◎学習機会の提供
- ◎学習情報ネットワーク化

にこにこ笑顔で健康な心と体をつくります。

- ◎健康づくり町民運動の普及
- ◎高齢社会の生きがいづくり

- ◆ 人間性の基礎を培う幼児教育の充実
 - ・幼児施設のあり方の検討と環境整備
 - ・地域で支える基盤強化
- ◆ 「生きる力」の基礎となる小中学校教育の充実
 - ① 教育環境の整備
 - ・学校図書館の充実
 - ・学校・学区再編等の見直し
 - ② 教育の質の向上
 - ・自主的・自立的な特色ある学校づくりの推進
 - ・基礎・基本の定着を図る指導法の改善
 - ・教員の質の向上
 - ・豊かな体験活動の実施
 - ・感性をはぐくむ教育・心の教育の実践
 - ③ 教育相談の充実
 - ・スクールカウンセラーの継続配置
 - ・教育相談体制の充実
 - ④ 特別支援教育の充実
 - ・特別支援教育への理解促進
 - ・個に応じた指揮・支援の充実
 - ⑤ 健康・安全教育の推進
 - ・「いのちの教育」の推進
 - ・安全・安心な学校づくり
 - ⑥ キャリア教育の推進
 - ・就業体験の充実
 - ・キャリア教育推進のための環境整備
- ◆ 共に育てる視点に立った家庭・地域との連携
 - ・開かれた学校づくりの推進
 - ・基本的な生活習慣・学習習慣の確立
- ◆ 望ましい食習慣を育てる学校給食・食育の充実
 - ・食に関する指導の充実
 - ・安全供給体制の充実
 - ・地域の食材を活用した学校給食の推進
- ◆ 地域と共にある高校教育への支援
 - ・特色ある学校経営への支援
 - ・地域や各学校との連携強化

- ◆ 心豊かに生きる生涯学習のまちづくり
 - ・生涯学習体制の整備
 - ・学習効果の評価と活用
 - ・リーダーの養成と確保
 - ・家庭教育の推進
 - ・青少年健全育成活動の推進
 - ・国際交流の推進
- ◆ 公民館を核とした地域活動
 - ・公民館活動の推進
 - ・地区公民館活動の推進
 - ・自治公民館活動の支援
- ◆ 図書館機能の充実
 - ・読書推進活動の展開
 - ・家庭教育との連携
- ◆ 芸術、文化のふるさとづくり
 - ・芸術、文化事業の支援及び充実
 - ・文化財の整備、保存、活用の推進
- ◆ 活力ある生涯スポーツの推進
 - ・生涯スポーツの推進と施設の充実
 - ・生涯スポーツ活動の情報提供
 - ・体育協会、スポーツ少年団活動支援

IV 外部評価委員の意見

河北町の教育振興計画に掲げる〈地域の自然・歴史に学び、新たな文化を創造していく元気な町民の育成〉に向けて、学校教育並びに生涯教育の両分野で取り組みを進め、学校及び家庭・地域社会において着実に展開され、大きな成果を上げているものと思います。

また、町内の小・中学校は、児童生徒数の減少、不登校をはじめ、個別の支援を必要とする児童生徒への対応、考える力を養う授業への改善など、今日的な課題の解決、改善に向けて積極的に取り組んでいるように思います。

生涯学習の面でも、サハトベに花、地区公民館、町民体育館、町民プールなどを核にした、意欲的な活動が多く見られます。特に、「かほく町民大学ひなカレッジ」は、毎年、素晴らしい内容の講座を提供しております。少数のスタッフでご苦勞も多いことだろうと思います。頭が下がる思いがします。少数のスタッフではきめ細かい準備をすることに難儀することもあると思いますので、外部の協力を得やすくするための支援を強化する必要があるように思います。

1 学校教育

(1) 町内全小中学校では、生きる力をはぐくむ教育という視点を教育目標の中心に据えており、学校経営が適切に行われていると思います。

(2) 教育環境の整備については計画的に進めていく必要があります。一方、ICT（情報通信技術）関連機器の充実や、施設や設備について、すぐに修繕・修理する必要性が生じることも多いと思います。

近い将来、外国語（英語）の学習時間がプラスされる見通しであると伺っています。増える授業時間と授業日数にも対応した教室環境の整備を、地球温暖化が危惧される今、計画的に推進していくことが大切になってくるように思っております。

校舎内外の照明器具などの安全点検については、きめ細かく適切に実施し、安心して学習や運動ができるように実施していただきたいものです。

一方、篤志家から浄財を頂き、環境整備に大きく貢献しているということですが、ありがたいことです。

(3) 「特色ある学校づくり」は、地域の歴史・自然とのかかわりを大切にして実践されており、更なる取り組みへ向けて支援を拡充すべきものと思います。とりわけ、各校で「べに花と米で栄えた河北町」を体験的に学んで、郷土に誇りを持った卒業生になってほしいと願っています。こうした取り組みの充実を期待しています。

(4) 英語教育・外国語活動推進事業については、ALT事業や英語指導支援員の配置を継続・拡充することが望まれます。

(5) 学級数減に伴った教職員定数の削減は、これまでのように個に丁寧に寄り添った教育を継続実践する上で大きな不安材料になっているようです。行政面からも、出来る限りの支援策をとってほしいと思います。学習・生活指導補助員の配置は大変効果的であると思われます。人数面で更なる充実が求められるところです。

(6) 一方、世の中がパソコンなどのICT機器に依存する度合いが高まり、本離れの傾向が若者を中心に急激に進行しているといわれています。反面、本に親しみ、繰り返して読むことでしか得られないことも多くあります。学校図書館の充実と読書活動の

更なる推進を期待しています。図書館司書の配置はすばらしいことです。是非継続していただきたいと思います。

- (7) いのちの教育については、人を思いやり、命を尊ぶことの大切さを、家庭の協力を得ながら、各校で力を入れて取り組んでいるようです。不登校・いじめなどの事態に繋がる言動を見逃さないなど、常日頃の見守りと心配りについて、これからも継続して取り組んでほしいと思います。
- (8) 昔に比べ、身を守る術が不十分な子どもが増えている感じがします。かつては遊びを通して身に着けた術であったと思いますが、学校・家庭・地域が、意図的に、身体を使って遊ぶ場面が多くなるような手立てをとることが必要なのかもしれませんが。
- (9) 食は命の源、望ましい食習慣を育てるため、食育計画に基づく指導を継続しています。また、学校給食においては、献立メニューに郷土料理や伝統料理献立を取り入れており評価できます。食材についても、地産地消の趣旨から、地元生産の作物の活用もできるだけ継続していただきたいと思います。
- (10) 町内唯一の県立高校である谷地高等学校は、地域と共にある教育ということで特色ある教育活動を展開しています。しかし、少子化に伴った定数減も余儀なくされています。学校の存続を願い、谷地高等学校生の活躍を応援していきたいものです。

2 生涯学習

- (1) 地区公民館は、3地区それぞれの中心施設として機能しています。一方、谷地地区の場合は、町の施設が数多く存在するものの、三つの小学校区にまたがることもあって、地区のセンターの色彩は弱いと言わざるを得ません。谷地地区のセンターの位置づけと、中央公民館との関わりを整理する必要があるのではないかと思います。他地区のように、自治公民館をまとめた連絡協議会を組織するなど、運営面から地区公民館としての立ち上げを期待したいと思います。
- (2) 3地区の地区公民館が農林補助事業で整備されたことに起因していると思いますが、3センターに関わる事業名が「農村環境改善施設事業」とされています。でも、地区公民館活動の推進拠点としては違和感があります。地区公民館にふさわしい事業名に変更できないのでしょうか。
- (3) 河北町の成人式は、対象者の8割以上の参加者があります。青年団が主体になった実行委員会が企画・運営にあたっていること、また、和やかに《はたちのつどい》を実施していることは、先輩と後輩、地域の繋がりを大切にしている素晴らしいことだと思います。良き伝統として引き継いでほしいと願っています。
- (4) 図書館後援会については、先人の偉業を顕彰し後援会組織を継続することの意味は大きいのですが、会員の確保を後援会の主たる事業目的とし、大活字本や点字本を寄贈するだけの活動から、図書館を軸にした読書活動の推進に向けた取り組みを後援する組織になっていただきたいと思います。例えば、図書館まつり、読書会活動、読み聞かせ運動、読書講演会などの事業を支援することに取り組めたらと思います。
- (5) 芸術・文化のふるさとづくりには、地域に存在する大切な歴史を探求し、文化財を保存・活用することで、郷土を誇りに思い、郷土を愛する心を育みます。丹念に地域の歴史遺産・文化芸術活動を発掘整理し、後世に継承する活動に、継続して力を入れ

てほしいと思います。

安部権内家屋形の保存・整備・公開については、有志による保存会の献身的な活動によるところが大きいです。町のバックアップの強化が望まれます。

- (6) 河北町総合交流センターサハトベに花につきましては、町の文化活動の拠点として、式典や大会、講演会、演奏会など、利用件数は増加、利用人数は減少でしたが堅調に推移しています。中でもリニューアルした全天周劇場でのプラネタリウム上映は、利用拡大につながっています。今後も、施設のPRと上映内容の充実、リピーターの確保に努力してほしいと思います。
- (7) 生涯スポーツの推進を図るための各種事業・大会とも、内容が充実し、定着した活動に繋がっているとと言えます。中でも、河北スポーツクラブの活動は、自主運営ながら、広報活動と新規教室の開催などで、確実な広がりを見せていることは評価したいと考えます。また、21回を数える区対抗スポーツ交流大会も、安定した参加チームで、各地区の親睦と町民の融和に繋がっています。
べにばなマラソンも含め、町民に、さまざまな健康づくりの活動機会を提供しています。「寝たきり」にならないように、多くの町民が参加することを願っています。
- (8) 河北町民プールは、町民の熱い要望と、町民の健康づくりのため整備され、多くの利用者が訪れています。隣接する施設等の整備と一体となって、更なる健康づくりの拠点となってほしいと願っています。
- (9) スポーツ少年団などは、少子化に加えて、参加形態も種目も多様化していることから、団員数確保に苦労しています。各小学校毎に組織されていた、野球や卓球、ミニバスケットと云った競技種目も、町で1チームに統合されています。残念な気もしますが、子どもたちにとって選択肢が多くなっているメリットもあります。時代の流れであろうと思います。

V 点検・評価対象事業一覧

番号	事業名	担当課	評価	備考
1	教育環境の整備	学校教育課	継続	
2	教育の質の向上	学校教育課	拡充	
3	教育相談の充実	学校教育課	継続	
4	特別支援教育の充実	学校教育課	継続	
5	健康・安全教育の推進	学校教育課	継続	
6	キャリア教育の推進	学校教育課	継続	
7	共に育てる視点に立った家庭・地域との連携	学校教育課	継続	
8	望ましい食習慣を育てる学校給食・食育の充実	学校教育課	継続	
9	地域と共にある高校教育への支援	学校教育課	継続	
10	農村環境改善施設事業	生涯学習課	継続	
11	社会教育総務事業	生涯学習課	継続	
12	成人式・はたちのつどい事業	生涯学習課	継続	
13	放課後子ども教室推進事業	生涯学習課	継続	
14	公民館事業	生涯学習課	継続	
15	地区公民館事業	生涯学習課	継続	
16	図書館事業	生涯学習課	継続	
17	文化財総務事業	生涯学習課	継続	
18	文化財保護事業	生涯学習課	継続	
19	サハトベに花管理事業	生涯学習課	継続	
20	サハトベに花文化事業	生涯学習課	継続	
21	芸術文化振興事業	生涯学習課	継続	
22	女性・青少年センター事業	生涯学習課	継続	
23	交流館遊戯事業	生涯学習課	継続	
24	保健体育総務事業	生涯学習課	継続	
25	体育指導・教室事業	生涯学習課	継続	

26	各種大会開催事業	生涯学習課	継続	
27	べに花関係大会開催事業	生涯学習課	継続	
28	体育施設事業	生涯学習課	継続	
29	旧町民プール事業	生涯学習課	休廃止	
30	新河北町民プール整備事業	生涯学習課	休廃止	
31	スポーツ振興事業	生涯学習課	継続	

事務事業点検・評価調書

1 事業名等

事業名	教育環境の整備
-----	---------

所管課・係	学校教育課
	管理係

施策体系 教育振興 計画	「生きる力」の基礎となる小中学校教育の充実
	・ 学校図書館の充実
	・ 第2次教育振興計画の策定

予算科目	款	10	教育費
	項	2・3	小・中学校費
	目		

2 事業の概要

事業目的	教育環境の整備
事業内容	(1) 環境整備の計画的実施 (2) 教育備品等の充実 (3) 学校図書館の充実 (4) 第2次河北町教育振興計画の策定

3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	37,341	補正額等	23,833	合計	61,970	決算額	44,921
-------	--------	------	--------	----	--------	-----	--------

4 事業の実施状況

(1) 西里小学校受水槽再生塗装工事、北谷地小学校屋外遊具設置工事及び小学校網戸設置工事など
(2) 汎用ソフトを組み入れた、学習用パソコンの運用など
(3) 学校図書の整備及び充実など

5 事業の評価

(1) 各施設とも耐震化は達成したが、非構造部材の耐震化の取組と、継続して老朽化等に対応する計画的修繕を行う必要がある。
(2) 学習用パソコンの内容充実と併せ校務用パソコンの活用を図った。
(3) 継続した図書の整備と充実を図った。
(4) 第2次河北町教育振興計画を策定した。

6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	今後とも、環境整備の計画的実施、教育備品・学校図書館等の充実を継続的に取り組むべきである。 学区再編については、第2次河北町教育振興計画を基に、子どもたちが学びやすい教育環境の構築を目指していく必要がある。

事務事業点検・評価調書

1 事業名等

事業名	教育の質の向上
-----	---------

所管課・係	学校教育課
	管理係

施策体系	「生きる力」の基礎となる小中学校教育の充実 ・特色ある学校づくりの取組み ・基礎・基本の定着を図る指導方法の改善 など
教育振興	
計画	

予算科目	款	10	教育費
	項	1・2・3	教育総務費、小・中学校費
	目	4・1	教育研究所費・学校管理費

2 事業の概要

事業目的	教育の質の向上
事業内容	(1) 自主的・自立的な特色ある学校づくりの充実 (2) 教員研修の充実 (3) 感性をはぐくむ教育・心の教育の実践 (4) 英語教育の実践 (5) 外国語活動推進事業の推進

3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	11,348	補正額等	△412	合計	10,936	決算額	10,630
-------	--------	------	------	----	--------	-----	--------

4 事業の実施状況

- (1) 「特色ある学校づくり」3年1サイクルの4サイクルの最終年、各校とも事業テーマを設定し、地域の歴史・自然のかかわりを大切にしながら実施した。
- (2) 教育研究所(6研究部会、3専門部会)において、今日的課題について主体的な研修を実施した。
- (3) 音楽会や芸術鑑賞、町の歴史文化等に触れるため遊蔵の郷土資料館等の活用を実施した。
- (4) ALT事業の継続実施と共に、小学5・6年生の外国語教育の円滑な実施のため、英語指導支援員の配置を継続実施した。
- (5) 外国語活動推進事業として、幼児英語教育研究事業と英語版ホームページ作成事業を実施した。

5 事業の評価

- (1) 今年度最終年度となる「特色ある学校づくり」事業を実施し、子ども達に付けたい力、ねらいを明確にし取り組むことができた。次年度からは地域交流学习活動事業に発展させる。
- (2) 主体的な研修を実施し、新たな教育課題に対応する指導の向上を図ることができた。
- (3) 継続して音楽会や芸術鑑賞を実施すると共に、町の施設や人材を活用することが図られた。
- (4) 国際化社会に対応する人材育成等のための外国語活動サポートの継続実施と共に、今後も英語に係る小中学校の更なる連携を検討していく必要がある。
- (5) 外国語活動推進事業を実施し、これからの英語教育について調査及び検証するとともに、英語の普及活動につなげることができた。

6 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>確かな学力、豊かな心、健やかな体など「生きる力」育むため、豊かな人間性と専門的な知識・技術などを基盤とする実践的指導力をもった教員の継続した育成を図る。</p> <p>特色ある学校づくり事業から、地域とのつながりをより強化する「地域交流学习事業」に発展させると共に、教育研究所の機能強化を図る。</p>

事務事業点検・評価調書

1 事業名等

事業名	教育相談の充実
-----	---------

所管課・係	学校教育課
	管理係

施策体系 教育振興 計画	「生きる力」の基礎となる小中学校教育の充実 ・スクールカウンセラーの継続配置 ・教育相談体制の充実 など
--------------------	--

予算科目	款	10	教育費
	項	1	教育総務費
	目	2	事務局費

2 事業の概要

事業目的	教育相談の充実
事業内容	(1) スクールカウンセラーの配置 (2) 教育相談活動の充実 (3) 適応指導教室の指導

3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	2,902	補正額等	△182	合計	2,720	決算額	2,647
-------	-------	------	------	----	-------	-----	-------

4 事業の実施状況

<p>(1) 中学校に配置された2人(県費)のスクールカウンセラー(臨床心理士)を活用して、小学校に2人(町費)のスクールカウンセラーを配置した。</p> <p>(2) 教育相談員2人(町費)を配置して、不登校児童・生徒等への対応を行った</p> <p>(3) 適応指導教室(ゆうゆう教室)に1人の指導員を配置し、児童・生徒への指導を行った。</p>

5 事業の評価

<p>(1) スクールカウンセラーが配置継続されており、児童・生徒へのカウンセリング、教職員・保護者への助言・援助等を行い、学校におけるカウンセリング機能の向上に努めた。</p> <p>(2) 教育相談員は、学校を訪問しながら、別室、適応指導教室での生徒の支援や、家庭訪問の実施等も行った。</p> <p>(3) 適応指導教室では、個に応じた対応等を行い、別室登校や普通学級復帰へ繋げた。</p>
--

6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>ストレスが増えた現代社会における、教育相談業務、スクールカウンセラー配置、適応指導教室の設置等は重要で、継続した取組が必要である。学校での児童生徒への対応を基本に、保護者との連携を一層密にする必要がある。</p>

事務事業点検・評価調書

事業名	特別支援教育の充実
------------	-----------

所管課・係	学校教育課 管理係
--------------	--------------

1 事業名等

施策体系	「生きる力」の基礎となる小中学校教育の充実 ・特別支援教育への理解促進 ・個に応じた指導・支援の充実 など
教育振興	
計画	

目	予算科	款	10	教育費
		項	2・3	小・中学校費
		目	1	小・中学校管理費

2 事業の概要

事業目的	特別支援教育の充実
事業内容	(1) 特別支援教育の実践・検証 (2) 長期的視野に立った支援体制の整備 (3) 個に応じた指導・支援の充実 など

3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	10,897	補正額等	0	合計	10,897	決算額	10,818
-------	--------	------	---	----	--------	-----	--------

4 事業の実施状況

(1) 町教育研究所において、全教職員対象の特別支援教育講座(3回)を開催する等、特別支援教育の確実な実践につなげた。
(2) 幼稚園や認定こども園と連携をとると共に、個に応じた指導や適正な就学につないだ。
(3) 学級の中で、個別に支援が必要な児童生徒のニーズに対応するため、学校の必要に応じて学習生活指導補助員(小学8人、中学1人)の継続配置と研修を行った。

5 事業の評価

(1) 具体的ケースを基にした研修や、別角度の視点での講座の設置等、多様な個に応じた特別支援教育の研修を継続して取り組むと共に、更に保護者の理解を深める取組みを行う。
(2) 各発達段階に応じた、支援計画のあり方など、幼稚園や認定こども園と連携を進める。
(3) 実情に応じ、継続して学習生活指導補助員を配置する。

6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	個別に支援が必要な児童生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、適切な教育支援を推進するため、引き続きその環境整備に努める。更に保護者の理解を深める取組みを行っていく。

事務事業点検・評価調書

事業名	健康・安全教育の推進
-----	------------

所管課・係	学校教育課 管理係
-------	--------------

1 事業名等

施策体系 教育振興 計画	「生きる力」の基礎となる小中学校教育の充実 ・「いのちの教育」の推進 ・安全・安心な学校づくり など
--------------------	--

目 予 算 科	款	10	教育費
	項	2・3	小・中学校費
	目	1	小・中学校管理費

2 事業の概要

事業目的	健康・安全教育の推進
事業内容	(1) 「いのちの教育」の推進 (2) 課題に対応した健康教育の推進 (3) 安全・安心な学校づくり など

3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	4,960	補正額等	0	合計	4,960	決算額	4,960
-------	-------	------	---	----	-------	-----	-------

4 事業の実施状況

<p>(1) 自他のいのちを大切にし、自分の身を危険から守ることに重きを置いて「いのちの教育」に取り組んだ。</p> <p>(2) 各校学校保健委員会を定期的(年2回)に開催し、各校における課題を明らかにしながら、校医の先生等からの指導等を得て改善に取り組んだ。</p> <p>(3) 通学路や地域の危険箇所の調査結果を基に、通学路安全推進会議で点検・対応を行った。</p>

5 事業の評価

<p>(1) 自他のいのちを大切に「いのちの教育」を推進することができた。</p> <p>(2) 早寝早起き朝ごはんや、歯磨きの励行など、保護者と一緒に健康教育を推進することができた。</p> <p>(3) 施設の安全面の整備は本より、地域、保護者と共に安全・安心な学校づくりを進める。</p>

6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>健康・安全教育の推進は学校教育の基本であり、保護者、地域の方と共に進めていく。引き続き、安全・安心な学校づくりに努めていく。</p>

事務事業点検・評価調書

事業名	キャリア教育の推進
-----	-----------

所管課・係	学校教育課 管理係
-------	--------------

1 事業名等

施策体系 教育振興 計画	「生きる力」の基礎となる小中学校教育の充実 ・就業体験の充実 ・キャリア教育推進のための環境整備 など
--------------------	---

目 予 算 科	款	10	教育費
	項	3	中学校費
	目	2	教育振興費

2 事業の概要

事業目的	キャリア教育の推進
事業内容	(1) 小学校段階からのキャリア教育 (2) 就業体験の充実 (3) キャリア教育のための環境整備

3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	500	補正額等	0	合計	500	決算額	499
-------	-----	------	---	----	-----	-----	-----

4 事業の実施状況

(1) 特色ある学校づくり事業に関連し、地域を知ることや、地域に縁のある方の講話を聞く等、小学校段階でのキャリア教育に関する事業を行った。
(2) 中学第2学年で3日間、地域の職場で就労体験を行い、生徒一人ひとりの望ましい勤労観・職業観を育てると共に、社会への参画の仕方等を考えさせた。また、第3学年では、本町出身者の方々の職場を訪問し、働く人々の姿に触れ、人としての生き方等を学んだ。

5 事業の評価

(1) 家庭における家事の分担等、発達段階に応じて、様々な体験活動を実施ながら、キャリア教育を推進する。
(2) 中学では、実際に体験することを通じて、働くことの意義や価値を実感として学ぶことができ、また、先生以外の方から指導を受けることで、新鮮な学びを体験できた。

6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	主体的に自己の進路を選択・決定できるなど、社会人・職業人として自立していくための発達段階に応じたキャリア教育を引き続き推進する。

事務事業点検・評価調書

事業名	共に育てる視点に立った家庭・地域との連携
-----	----------------------

所管課・係	学校教育課 管理係
-------	--------------

1 事業名等

施策体系	共に育てる視点に立った家庭・地域との連携
教育振興 計画	・開かれた学校づくり ・基本的な生活習慣・学習習慣の確立 など

目 予 算 科	款	10	教育費
	項	1	教育総務費
	目	2	事務局費外

2 事業の概要

事業目的	共に育てる視点に立った家庭・地域との連携
事業内容	(1) 開かれた学校づくりの推進 (2) 地域の教育力の活用 (3) 基本的な生活習慣・学習習慣の確立 (4) 安全を守るための連携

3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	266	補正額等	0	合計	266	決算額	245
-------	-----	------	---	----	-----	-----	-----

4 事業の実施状況

<p>(1) 各学校に学校評議員を委嘱し、保護者・地域住民の意見を学校運営等に反映させた。</p> <p>(2) 体験学習での畑の先生や学校支援地域本部事業など、地域の方々の協力を得ると共に、地域の行事への参加などを推進した。</p> <p>(3) あいさつ運動や、家庭の日の推進、家庭学習(小学全校家庭学習の手引きを発行)の定着など、学校・家庭・地域が連携して進めることができた。</p> <p>(4) 地域の方々と共に、登下校時の安全確保の見守り活動とあわせ、地域学校安全指導員(1人)を配置し児童生徒の安全確保を図った。</p>

5 事業の評価

<p>(1) 各学校評議員を委嘱し、学校の課題を共有する、等開かれた学校づくりを推進する。</p> <p>(2) 学校支援地域本部事業の周知を継続し、地域の方々の協力を得る等取組みを進める。</p> <p>(3) 家庭学習の定着など、学校・家庭・地域が連携して進める。</p> <p>(4) 地域の方々の協力の下、登下校時の安全確保の見守り活動を行うと共に、地域学校安全指導員の配置や安全施設の整備を進める。</p>
--

6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>子どもの社会的認識を培い、生きる力や心の教育など多面的な発達を促進していくために「開かれた学校づくり」や、保護者・地域住民の学校経営への理解と参画を得て、信頼される学校づくりを進める必要がある。</p>

事務事業点検・評価調書

事業名	望ましい食習慣を育てる学校給食・食育の充実
------------	-----------------------

所管課・係	学校教育課
	学校給食センター

1 事業名等

施策体系	望ましい食習慣を育てる学校給食・食育の充実
教育振興計画	・食に関する指導の充実 ・地域の食材を活用した学校給食の推進 等

目	予算科	款	10	教育費
		項	5	保健体育費
		目	4	給食センター費

2 事業の概要

事業目的	望ましい食習慣を育てる学校給食・食育の充実
事業内容	(1) 食に関する指導の充実 (2) 学校・家庭・地域の連携 (3) 安全供給体制の充実と施設設備等の更新・補修 (4) 地域の食材を活用した学校給食の推進

3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	149,533	補正額等	△496	合計	149,037	決算額	147,868
-------	---------	------	------	----	---------	-----	---------

4 事業の実施状況

(1) 各校で食育計画を策定し推進するとともに、栄養教諭による食に関する指導を実施した。
(2) 学校給食だよりを発行し、給食のメニューの掲載だけでなく、地元食の紹介や、食材のこと等保護者の方へお知らせした。
(3) 食材の理化学検査等の実施と器具消毒保管機を更新した。
(4) 郷土料理や伝統料理を献立メニューに取り入れ、地場産品を可能な限り取り入れた。また、きゅうり生産者との交流給食を実施するとともに、地元生産者の紹介も行った。

5 事業の評価

(1) 引き続き食育計画の推進と、栄養教諭による食に関する指導を実施する。
(2) 正しい食習慣を身につけること等、学校・家庭等が連携して推進する必要がある。
(3) 食の安全確保のため食材の放射線量の測定や、計画的施設等の更新を実施する必要がある。
(4) 季節や地域の伝統料理を継続してメニューに取り入れながら、地場産品の利用促進のため生産者・流通団体・農林主管課と課題解決の取組を進める。

6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	児童生徒自身の食生活は学校給食だけでなく、家庭での食事が中心となるなどのため、学校・家庭・地域と連携して児童生徒の望ましい食習慣の形成に努めると共に、施設の計画的な修繕・更新、安全な食材の使用など推進する。

事務事業点検・評価調書

事業名	地域と共にある高校教育への支援
-----	-----------------

所管課・係	学校教育課
	管理係

1 事業名等

施策体系	地域と共にある高校教育への支援
教育振興計画	<ul style="list-style-type: none"> ・特色ある学校経営への支援 ・地域や各学校との連携強化 等

目 予算科	款	10	教育費
	項	1	教育総務費
	目	1-2	教育委員会費・事務局費

2 事業の概要

事業目的	地域と共にある高校教育への支援
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> (1) 奨学金制度の充実 (2) 教育環境の整備支援 (3) 特色ある学校経営への支援 (4) 地域と学校との連携強化

3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	797	補正額等	△63	合計	734	決算額	733
-------	-----	------	-----	----	-----	-----	-----

4 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> (1) 河北町育英会に対し、奨学金貸付の借入金利子等の補助金をした。 (2) 地域に密着した学校づくりを進めるため、山形県立谷地高等学校後援会が行う教育活動等を支援する事業に対して補助金を交付した。
--

5 事業の評価

<ul style="list-style-type: none"> (1) 引き続き奨学金制度を運用し、保護者の学費負担軽減に努める。 (2) 町唯一の高等学校であり、地域に密着した学校づくりを進めていくため、地域に貢献する教育活動や土日祝日の通学バス運行経費等、支援していく必要がある。

6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	地域に密着した学校づくりを進めるため、山形県立谷地高等学校後援会が行う教育活動等を支援する事業に対して補助金を交付して支援していく。

事務事業点検・評価調書

1 事業名等

事業名	農村環境改善施設事業	所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
施策体系 教育振興 計画	公民館を核とした地域活動 ・地区公民館活動の推進	予算科目	款 6 農林水産業費 項 1 農業費 目 6 農村環境改善施設費

2 事業の概要

事業目的	地区の中心的施設であるセンターの管理運営及び維持
事業内容	西里、溝延、北谷地の各センターの維持管理費

3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	26,203	補正額等	1,216	合計	27,419	決算額	26,600
-------	--------	------	-------	----	--------	-----	--------

4 事業の実施状況

(1) 各センターの運営協議会開催	2回ずつ
(2) 利用者数と利用料金	
農村環境改善センター（西里地区公民館）	15,066人 457,967円 (前年度13,497人 344,474円)
溝延研修センター（溝延地区公民館）	15,953人 455,534円 (前年度15,868人 395,773円)
北谷地構造改善センター（北谷地地区公民館）	11,938人 276,328円 (前年度12,841人 262,059円)
(3) 工事等	
・農村環境改善センター	照明器具修繕、水飲み場修繕、冷蔵庫修繕、印刷機修繕、芝刈機修繕、遊具修繕、水銀灯ポール修繕、湯沸し器修繕、自動火災報知設備修繕
・溝延研修センター	男子トイレ小便器修繕、プリンター修繕
・北谷地構造改善センター	自動火災報知設備修繕、照明器具修繕、FF暖房器修繕、水銀灯修繕

5 事業の評価

地域の活性化に各団体が取り組み、地域連帯感の醸成を図ることができた。また、地域住民の健康の増進、生活文化の振興等に寄与するため施設の適切な管理運営に努めた。
--

6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	28年度は大規模工事が無かったが、今後、予想される大規模修繕に関して計画的に執行し、施設の適切な維持管理を図りながら利用者の利便性を確保できるようにする。

事務事業点検・評価調書

1 事業名等

事業名	社会教育総務事業
-----	----------

所管課・係	生涯学習課
	生涯学習係

施策体系	心豊かに生きる生涯学習のまちづくり
教育振興 計画	・生涯学習推進体制の整備 ・リーダーの養成と確保 ・家庭教育の推進 ・青少年健全育成活動の推進

予算科目	款	10	教育費
	項	4	社会教育費
	目	1	社会教育総務費

2 事業の概要

事業目的	地域住民が積極的に生涯教育活動に関わり地域の教育力を向上
事業内容	社会教育委員、社会教育推進員、青少年育成推進員、紅花いっぱい運動事業、元泉地域づくり推進事業、視聴覚教育、学校支援本部事業、家庭教育事業、家庭の日事業等

3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	4,713	補正額等	△69	合計	4,644	決算額	4,109
-------	-------	------	-----	----	-------	-----	-------

4 事業の実施状況

(1) 社会教育委員	・委員会を2回開催し、委員より生涯学習事業全般について意見を求めている。
(2) 社会教育推進員	・事業全般に協力。青少年育成推進員との合同会議を2回、研修会を1回開催
(3) 青少年育成推進員	・各種少年向け事業の運営、青少年健全育成のための巡回などに協力
(4) 少年教育・青年教育	・第28回爽やかサイクリング 平成28年9月22日(木)54人参加 ・第26回子どものつどい 平成29年3月4日(土)24人参加 ・みどりの少年団(6月1日現在 団員数28人、谷地西部小学校3年生～6年生まで) ・家庭の日イベント ソイキャンドルをつくろう 平成28年11月20日(日) 親子で体を動かそう 平成29年1月15日(日) ・べに花の種プレゼント 平成28年4月10日(日) ・第36回最上紅花切花展 平成28年7月10日(日)
(5) 学校支援地域本部事業	・コーディネーターが各学校の要望調査と合わせて、チラシでボランティアを募集し、学校が望むボランティアの確保と調整を図って学校を支援した。
(6) 学校・家庭・地域の連携協働推進事業	・やまがた子育て講座 町内7小中学校 ・幼児共育ふれあい広場 町内1幼稚園、1こども園

5 事業の評価

昨年度に比べ爽やかサイクリング、子どものつどいの参加者が増加した。社会教育委員や社会教育・青少年育成両推進員、子ども会育成会役員、青年団員など、多くの方々の協力を得ながら恒例の事業を継続実施することができた。
--

6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	開催時期や周知方法等について、なお工夫や見直しを行い、参加者の増加に繋げる必要がある。

事務事業点検・評価調書

1 事業名等

事業名	成人式・はたちのつどい事業
-----	---------------

所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
-------	----------------

施策体系 教育振興 計画	心豊かに生きる生涯学習のまちづくり ・青少年健全育成活動の推進
--------------------	------------------------------------

予算科目	款	10	教育費
	項	4	社会教育費
	目	1	社会教育総務費

2 事業の概要

事業目的	地域の若者力の集結
事業内容	成人式及びはたちのつどいの実施

3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	873	補正額等	0	合計	873	決算額	861
-------	-----	------	---	----	-----	-----	-----

4 事業の実施状況

(1) 成人式・はたちのつどい 平成29年1月8日(日)	<ul style="list-style-type: none"> 成人式の式典をサハトベに花で、引き続きはたちのつどいを町民体育館で開催した。平成23年度に河北中学校を卒業した人等が対象で、対象者207人中、177人が式典に参加した。 なお、青年団員が主体となった実行委員が企画・運営した「はたちのつどい」は、飲食を伴いながら恩師や旧友と語り合うことができる、楽しい集いの場となった。
(2) 成人式・はたちのつどい写真展 平成29年2月4日(土)・5日(日)	<ul style="list-style-type: none"> サハトベに花で開催し、はたちのつどい実行委員が撮影したスナップ写真の注文を受け付け、合わせて記念品(クラスごとの集合写真)を贈呈した。

5 事業の評価

「はたちのつどい」では、実行委員会の中核となる町青年団の実働団員数と活動可能な時間が減少する中で、派手な装飾・演出などが難しくなっているが、制約のある中でも、各自工夫を凝らしたはたちのつどいを開催できた。
--

6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	「はたちのつどい」を現行のあり方で継続するには、実行委員の確保が喫緊の課題である。今後、実行委員の増員や運営方法と合わせて、多くの新成人たちの思い出に残る、楽しい一日となるような内容を検討する。

事務事業点検・評価調書

1 事業名等

事業名	放課後子ども教室推進事業	所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
施策体系 教育振興 計画	心豊かに生きる生涯学習のまちづくり ・青少年健全育成活動の推進	予算科目	款 10 教育費 項 4 社会教育費 目 1 社会教育総務費

2 事業の概要

事業目的	子どもの安全な遊び場の確保、体験学習を通しての仲間づくり
事業内容	夏休みを除く6月から9月までの期間の水曜日に子どもの遊び場を確保

3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	459	補正額等	△3	合計	456	決算額	424
-------	-----	------	----	----	-----	-----	-----

4 事業の実施状況

(1) 子どもの居場所づくり事業												
<p>・平成16年度から取り組んでいる事業であり、運営委員でもある各地区青少年育成町民会議役員や各学校の協力を得て、6月から10月の夏休みを除く水曜日の放課後を基本にして、5種類(ビーズアクセサリー、おりがみ、俳句、英語、キッズダンス)の講座を含めた事業を展開した。</p> <p>町内の学区ごとに6会場で実施し、一日平均で約67人が参加した。なお、教室別の1回あたりの平均人数は以下のとおりである。</p> <table border="0"> <tr> <td>西里放課後子ども教室</td> <td>16人</td> </tr> <tr> <td>溝延放課後子ども教室</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>谷地中部放課後子ども教室</td> <td>30人</td> </tr> <tr> <td>谷地南部放課後子ども教室</td> <td>16人</td> </tr> <tr> <td>谷地西部放課後子ども教室</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>北谷地放課後子ども教室</td> <td>14人</td> </tr> </table>	西里放課後子ども教室	16人	溝延放課後子ども教室	8人	谷地中部放課後子ども教室	30人	谷地南部放課後子ども教室	16人	谷地西部放課後子ども教室	9人	北谷地放課後子ども教室	14人
西里放課後子ども教室	16人											
溝延放課後子ども教室	8人											
谷地中部放課後子ども教室	30人											
谷地南部放課後子ども教室	16人											
谷地西部放課後子ども教室	9人											
北谷地放課後子ども教室	14人											

5 事業の評価

異年齢同士の子どもたちが交流できる場となっており、地域の方々にコーディネーター役と見守り役を引き受けてもらうことで、地域の大人たちと子どもたちとの交流も見られる。

6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止
今後の対応	事業実施には地区や学校の協力が必要不可欠であり、今後も地域、学校の状況を踏まえながら連携を密にする必要がある。

事務事業点検・評価調書

1 事業名等

事業名	公民館事業	所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
施策体系 教育振興 計画	公民館を核とした地域活動 ・公民館活動の推進 ・自治公民館活動の支援	予算科目	款 10 教育費 項 4 社会教育費 目 2 公民館費

2 事業の概要

事業目的	公民館活動や文化活動の活性化と文化活動への積極的参加の促進
事業内容	中央公民館運営、各分館活動支援、婦人文化教室支援、ひなカレッジ支援

3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	3,723	補正額等	△20	合計	3,703	決算額	3,205
-------	-------	------	-----	----	-------	-----	-------

4 事業の実施状況

(1) 青少年講座	<ul style="list-style-type: none"> ・べに花かほく体験隊Ⅰ 平成28年7月24日(日) 河北高等技能専門学校講師、IT関連事業経営者を講師として、37人の子どもたちがエコバッグづくりに挑戦した。 ・べに花かほく体験隊Ⅱ 平成29年2月19日(日) 町内のパティシエを講師に招き、25人の子どもたちがムースショコラづくりに挑戦した。
(2) 子どもいけばな教室	<ul style="list-style-type: none"> ・7月～2月までの主に第4土曜日、サハトべに花にて、龍生派(華道)指導者によるいけばな教室が8回開催された。小学生の作品は10月の町文化祭で展示され好評を博した。
(3) 青年講座	<ul style="list-style-type: none"> ・やんぐ講座 平成29年2月25日(土) 初心者でも簡単にできる、ヨガ教室を開催。8名が参加。
(4) かほく町民大学ひなカレッジ	<ul style="list-style-type: none"> ・16人の実行委員が中心となって、1つの大講座と5つの小講座及び公開講座を開催した。 大講座 林修講演会 平成28年9月11日(日) 入場者740人 小講座の受講生数 べにばなラボ 16人、大人の部活動 10人、こころ学 34人 女性の磨き学 11人、恋する歴史学 15人 公開講座 かほくシネマ倶楽部(映画上映会2回)、こころのお手入れスピリチュアルケア、もっと知りたい“地域おこし協力隊”の魅力 閉講式 笑い納め落語会 平成28年12月17日(土)
(5) 生涯学習講師派遣事業	<ul style="list-style-type: none"> ・登録されている対象団体数は56あり、学習の一部補助として1件5,000円を補助している。 平成28年度は6件を支援した。

5 事業の評価

ひなカレッジは、経験豊富な実行委員が積極的に企画・運営等に関わり、良い意味で行政主導とは異なる視点や発想の柔軟性を持って多様な講座を展開している。また、事業内容の見直しも活発に議論されている。
--

6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	多様な講座を展開するひなカレッジにより多くの人に参加できるように、今後とも開催時期・曜日・時間帯・場所も含めた講座内容を考慮していく。

事務事業点検・評価調書

1 事業名等

事業名	地区公民館事業
-----	---------

所管課・係	生涯学習課
	生涯学習係

施策体系	公民館を核とした地域活動
教育振興計画	・地区公民館活動の推進

予算科目	款	10	教育費
	項	4	社会教育費
	目	2	公民館費

2 事業の概要

事業目的	各地区公民館活動による、地域力の高まりと文化活動への積極的参加の促進
事業内容	各地区公民館の活動と運営支援

3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	1,142	補正額等	△5	合計	1,137	決算額	1,061
-------	-------	------	----	----	-------	-----	-------

4 事業の実施状況

(1) 文化教養講座	<ul style="list-style-type: none"> ・文化教室（西里） 8学級延べ124人 ・大昭大学（溝延） 99人 ・文芸学級（北谷地） 9学級延べ122人 	<ul style="list-style-type: none"> ・婦人会各学級（溝延） 6学級延べ101人 ・あじさい学級（溝延） 27人
(2) 学習講座	<ul style="list-style-type: none"> ・しめ飾り作り（西里） ・小正月行事（溝延） ・ミニ門松づくり（北谷地） ・小正月行事（北谷地） 	<ul style="list-style-type: none"> 西里小学校5年生参加 溝延小学校1年生参加 北谷地小学校5年生参加 北谷地小学校1・2年生参加
(3) その他の講座等（全地区）	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの居場所づくり事業 各10回 ・地区公開講座 各1回 ・地区文化祭 各1回 ・新春を祝う会 各1回 ・やすらぎのまちづくり事業における交流会 各1回 ・青少年育成町民会議事業における子育て講演会 各1回 ・輪投げ大会、スカットボール大会、ゲートボール大会等 	
(4) センターだよりの発行（月1回）		

5 事業の評価

各種団体、地域、学校等の協力を得ながら、各種講座・文化祭・スポーツ大会などの事業に取り組んだ。各地区公民館を担当する職員と館長・管理人が連携して業務を遂行した。今後もより多くの人に参加できるように、内容の充実に向けて創意工夫に努める必要がある。

6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	講座には女性や高齢者のリピーターを中心に一定の参加者数があるが、新たな参加者が参加しやすいようにしていく必要がある。また、学習講座の講師は、老人クラブを中心に行っているが、次の世代への技術の継承も必要である。

事務事業点検・評価調書

1 事業名等

事業名	図書館事業
-----	-------

所管課・係	生涯学習課
	生涯学習係

施策体系	図書館機構の充実
教育振興計画	<ul style="list-style-type: none"> ・読書推進活動の展開 ・家庭教育との連携

予算科目	款	10	教育費
	項	4	社会教育費
	目	3	図書館費

2 事業の概要

事業目的	図書館の運営とサービスの充実
事業内容	指定管理者制度の導入による施設運営、備品（蔵書）の計画的な購入

3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	25,767	補正額等	0	合計	25,767	決算額	25,766
-------	--------	------	---	----	--------	-----	--------

4 事業の実施状況

(1) 図書館の運営	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人河北まちづくりネットワークひまわりが指定管理者となり、図書館運営やブックスタート事業、おはなし会、移動図書館等を実施した。
(2) 図書館後援会	<ul style="list-style-type: none"> ・趣旨に賛同くださる方から寄付金（会費）を募り、大活字本、DVD等を図書館に寄贈した。 大活字本56冊、DVD等14巻寄贈

5 事業の評価

指定管理者制度の導入により、開館時間の延長や図書館ホームページの更新などサービスの拡充を図り、利用者のニーズに応える多様な蔵書の配置を行っている。

6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	蔵書の内容向上に努めるため、これまでと同様に町民が関心を寄せる良書の選定や情報収集と研修を行う。また、閉架書庫の収納スペースを増やす大規模改修工事については検討を継続する。

事務事業点検・評価調書

1 事業名等

事業名	文化財総務事業	所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
施策体系 教育振興 計画	芸術、文化のふるさとづくり ・文化財の整備、保存、活用の推進	予算科目	款 10 教育費 項 4 社会教育費 目 4 文化財費

2 事業の概要

事業目的	地域の文化財の保護と資料整備
事業内容	町文化財保護審議会の開催、町の歴史講座の開催

3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	1,354	補正額等	0	合計	1,354	決算額	1,354
-------	-------	------	---	----	-------	-----	-------

4 事業の実施状況

<p>(1) 文化財保護審議会 会議：3回 研修：上山市 ・毎月の広報かほく15日号に各地区の由来、名所等を紹介する「かほく風土記」を掲載した。</p> <p>(2) 河北町の歴史講座 3回 実人数で73人参加（延べ132人参加） ・第1回 現代の勧進～クラウドファンディングを利用した仏像修復～ 12月10日（土） 36人参加 ・第2回 堀米四郎兵衛家の御朱印状と御朱印蔵 1月21日（土） 51人参加 ・第3回 雛祭りの歴史と雛人形の種類 2月18日（土） 45人参加</p>
--

5 事業の評価

文化財保護審議会の意見を尊重しながら文化財の保護に努め、広報に「かほく風土記」を掲載することで文化財の周知に努めた。町の歴史講座は、リピーターも多く好評を博している。

6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	町指定文化財候補について調査を継続し、貴重なものを順次指定することで文化財保護を推進する。

事務事業点検・評価調書

1 事業名等

事業名	文化財保護事業
-----	---------

所管課・係	生涯学習課
	生涯学習係

施策体系 教育振興 計画	芸術、文化のふるさとづくり ・文化財の整備、保存、活用の推進
--------------------	-----------------------------------

予算科目	款	10	教育費
	項	4	社会教育費
	目	4	文化財費

2 事業の概要

事業目的	文化財愛護精神の啓発
事業内容	有形文化財の指定、史跡説明板設置、無形文化財の保護

3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	298	補正額等	0	合計	298	決算額	293
-------	-----	------	---	----	-----	-----	-----

4 事業の実施状況

<p>(1) 県指定文化財の巡回</p> <p>(2) 無形文化財の保護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映像収録編集と公開（遊蔵、サハトベに花）…北谷地の小正月行事を追加 ・民俗芸能伝承活動の助成…岩木伝承活動保存会 <p>(3) 史跡説明板の更新</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北口市神（下市） ・刀工月山貞吉生家跡 <p>(4) 天然記念物の保護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県指定天然記念物「蟠竜のマツ」の松くい虫調査および保護活動 ・カモシカの監視
--

5 事業の評価

無形文化財の収録映像を交流館遊蔵とサハトベに花に設置してあるタッチパネルのパソコンで公開した。また、史跡説明板に損傷のあったものを更新した。
--

6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	指定文化財の現況調査や指定文化財の指定をとおして、文化財の啓発と保護に努め、損傷のある史跡説明板は計画的に更新していく。

事務事業点検・評価調書

1 事業名等

事業名	サハトベに花管理事業
-----	------------

所管課・係	生涯学習課
	生涯学習係

施策体系 教育振興 計画	芸術、文化のふるさとづくり
	・ 芸術、文化事業の支援及び充実

予算科目	款	10	教育費
	項	4	社会教育費
	目	5	サハトベに花費

2 事業の概要

事業目的	サハトベに花の維持管理
事業内容	指定管理者制度の導入による施設管理、計画的な維持修繕

3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	77,013	補正額等	2,071	合計	79,084	決算額	79,078
-------	--------	------	-------	----	--------	-----	--------

4 事業の実施状況

(1) 河北町総合交流センターサハトベに花の運営
・ 指定管理者 (株)河北町べに花の里振興公社
年間利用件数 2,196件 (前年度 2,018件)
年間利用人数 66,363人 (前年度 72,054人)
(2) プラネタリウム等の上映
・ 平成27年7月にリニューアルオープンした全天周劇場で毎日、プラネタリウム等を上映した。
年間上映回数 542件
年間利用人数 6,209人
(3) 工事等
・ 高圧ケーブル交換工事、図書館事務室空調機修繕、図書館ペアガラス修理

5 事業の評価

指定管理者によるプラネタリウム等の上映と関連イベントや講座の実施により、新たな利用者を獲得することができた。一方で、予見できない施設機器等のトラブルに見舞われたが、柔軟に対応することができた。
--

6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	平成27年度で開館20周年となった施設であり、経年に対応した修繕箇所をランク付けして計画的に対応していく必要がある。プラネタリウム等については、利用者のニーズに応えられる内容の充実と町内外へのPR活動を図る。

事務事業点検・評価調書

1 事業名等

事業名	サハトベに花文化事業
-----	------------

所管課・係	生涯学習課
	生涯学習係

施策体系	芸術、文化のふるさとづくり
教育振興 計 画	・芸術、文化事業の支援及び充実

予算科目	款	10	教育費
	項	4	社会教育費
	目	5	サハトベに花費

2 事業の概要

事業目的	地域住民の芸術文化の意識向上
事業内容	かほく歌謡ショー

3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	5,388	補正額等	△1,005	合計	4,383	決算額	4,372
-------	-------	------	--------	----	-------	-----	-------

4 事業の実施状況

(1) サハトホール事業
・河北町民歌制定記念・名誉町民大塚文雄芸能生活50周年記念「かほく歌謡ショー」
平成28年10月2日(日) 入場者757人

5 事業の評価

名誉町民大塚文雄先生を始め、河北町出身者を中心とした出演者による「かほく歌謡ショー」は満席で、来場者、出演者双方に満足いただき、成功裏のうちに終えることができた。

6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	町民のニーズに幅広く応えられる公演を実施していく。また、NHK事業・宝くじ助成事業などのように、経費的な助成を見込める事業の調査・研究を継続する。

事務事業点検・評価調書

1 事業名等

事業名	芸術文化振興事業
-----	----------

所管課・係	生涯学習課
	生涯学習係

施策体系	芸術、文化のふるさとづくり
教育振興計画	・芸術、文化事業の支援及び充実

予算科目	款	10	教育費
	項	4	社会教育費
	目	5	サハトベに花費

2 事業の概要

事業目的	地域住民の芸術文化活動の活性化
事業内容	河北町芸術文化協会、県美展河北巡回展、べに花の里俳句大会等各種芸術文化団体への活動補助、サハトベに花展示室での展示事業の実施

3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	2,211	補正額等	△76	合計	2,135	決算額	1,795
-------	-------	------	-----	----	-------	-----	-------

4 事業の実施状況

(1) サハトベに花展示事業（一般貸館を除く。）	
・共催事業：河北美術クラブ展	5月 8日～ 5月14日
・自主事業：河北美術クラブ会員展（高橋和子作品展）	5月13日～ 6月 6日
・自主事業：河北町書道連盟会員展（工藤飛鷹書作展）	8月 2日～ 8月30日
・自主事業：細谷俊郎陶磁器展	9月30日～10月26日
・総合文化祭：総合作品展	11月 1日～11月 3日
・総合文化祭：河北郷土史研究会展示	11月 8日～11月30日
・自主事業：河北美術クラブ会員展（布川東恵書画展）	12月6日～平成29年1月15日
・共催事業：河北町書道連盟会員展	3月 5日～ 3月14日
河北町婦人文化教室絵画学級展	3月18日～ 3月22日
(2) 文化祭の開催	
・町芸術文化協会加盟18団体の発表会（10月3日～11月27日）	
・記念式典・舞台発表会（11月3日）	
・文化祭の反省会・研修会（3月1日）	
(3) 各種芸術文化団体への補助	
・町芸術文化協会、県美展河北巡回展実行委員会、べに花の里俳句大会実行委員会、町小中学校芸術鑑賞教室実行委員会へ補助金を支出した。	

5 事業の評価

展示事業は、町内の各芸術文化団体等の協力を得て取り組んだ。町芸術文化協会加盟団体には、会員の確保や発表会の鑑賞者数の確保に悩みを抱えている団体もある。文化祭の記念式典・舞台発表会では、根際子ども会に大黒舞を発表いただくなどの取組みを行った。

6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	文化祭の盛り上がりには、町芸術文化協会加盟各団体のPR活動や団体同士の連携が必要とされ、同時に芸術文化協会の活動についてもPRを進める。

事務事業点検・評価調書

1 事業名等

事業名	女性・青少年センター事業	所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
施策体系 教育振興 計画	心豊かに生きる生涯学習のまちづくり ・リーダーの養成と確保 ・青少年健全育成活動の推進	予算科目	款 10 教育費 項 4 社会教育費 目 6 女性・青少年センター費

2 事業の概要

事業目的	青年層の活動の活性化
事業内容	女性・青少年センターの管理、運営

3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	1,236	補正額等	0	合計	1,236	決算額	1,081
-------	-------	------	---	----	-------	-----	-------

4 事業の実施状況

(1) 利用状況	<ul style="list-style-type: none"> 青年団や高校生ボランティアサークル・ピエロが、それぞれの活動拠点として利用した。また、河北青年会議所の事務所として、施設の一部占用を許可した(有料)。このほか、県の学習支援事業などで利用があった。
(2) 修繕	<ul style="list-style-type: none"> 玄関マット修繕
(3) 管理業務	<ul style="list-style-type: none"> (株)河北町べに花の里振興公社に管理業務を委託 年間利用件数 130件 (前年度 93件) 年間利用人数 1,328人 (前年度 1,047人)

5 事業の評価

学習支援事業の定期利用があり、利用件数・利用人数は増加した。

6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	施設を維持管理するために適切な修繕を図る。施設の存在を周知する必要がある一方、施設の有効活用を図る観点で「女性・青少年センター」として今後も維持するのか、他の用途での活用を模索するのかを検討する。

事務事業点検・評価調書

1 事業名等

事業名	交流館遊戯事業
-----	---------

所管課・係	生涯学習課
	生涯学習係

施策体系 教育振興 計画	芸術、文化のふるさとづくり ・芸術、文化事業の充実 活力ある生涯スポーツの推進 ・生涯スポーツの推進と施設の充実
--------------------	---

予算科目	款	10	教育費
	項	4	社会教育費
	目	7	交流館遊戯費

2 事業の概要

事業目的	まちなか交流人口の拡大、青少年層への伝統文化の紹介、生涯学習活動及び生涯スポーツの活性化
事業内容	施設の維持管理、郷土資料館の展示、体験学習の実施、運動する機会の提供

3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	4,713	補正額等	138	合計	4,851	決算額	4,733
-------	-------	------	-----	----	-------	-----	-------

4 事業の実施状況

(1) 利用人数	<ul style="list-style-type: none"> ・屋内運動場 766件 6,953人 (前年度835件 7,844人) ・郷土資料館 1,260人 (前年度1,082人)
(2) 施設管理	<ul style="list-style-type: none"> ・河北町シルバー人材センターに委託
(3) 施設修繕	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道修理、監視カメラモニター修繕、照明器具修繕、トイレ洋便器つまり修繕、屋内運動場防球ネットゴム・木製格子修繕
(4) 常設展示	<ul style="list-style-type: none"> ・祭り暮らし展示室…囲炉裏端と民具・農具の展示、囃子屋台の展示 ・匠の道具展示室…河北職業訓練協会より資料借用 ・来館者、小学生向け展示説明…河北町郷土資料館協力員 ・タッチパネルのパソコンの設置・更新

5 事業の評価

郷土資料館は、非常勤の協力員に展示替えや解説をお願いし、各小学校の社会科学習の見学先として活用されている。また、伝統芸能や匠の道具の映像を更新した。屋内運動場はゲートボール、フットサル、輪投げ、テニス、野球等で昼夜使用され盛況である。

6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	郷土資料館の展示替えやタッチパネルのパソコンの内容更新を継続する。また、平成20年の開館以来、今後の比較的規模の大きい修繕について計画的に取り組む。

事務事業点検・評価調書

1、事業名等

事業名	保健体育総務事業
-----	----------

所管課・係	生涯学習課
	社会体育係

施策体系 教育振興 計画	6 活力ある生涯スポーツの推進
	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯スポーツの推進 ・生涯スポーツ活動の情報提供

予算科目	款	10	教育費
	項目	5	保健体育費
	目	1	保健体育総務費

2、事業の概要

事業目的	町民総スポーツの推進
事業内容	地域における一層のスポーツの振興と一町民一スポーツの推進

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	1,591	修正額等	△13	合計	1,578	決算額	1,532
-------	-------	------	-----	----	-------	-----	-------

4、事業の実施状況

<p>(1) スポーツ推進審議会を年3回開催し、体育・スポーツを体系的、計画的に推進するための調査・審議を行った。</p> <p>(2) 町体育協会に補助金を交付し、体育・スポーツの更なる振興を図った。また、体育協会主催により、本町スポーツの普及振興に功績のあった方、並びに競技成績が優秀である個人又は団体を、河北町体育協会表彰式にて表彰した。</p> <p>(3) 山形県スポーツ振興 21 世紀協会負担金で、モンテディオ山形関係のサッカー事業の充実を図った。</p> <p>(4) 河北スポーツクラブは、町民の自主運営による総合的なスポーツクラブであり、その趣旨に基づき会員募集チラシを全戸配布し、新規の教室も加え会員の増加と円滑かつ継続的な事業の展開に努めた。また、町からの総合型地域スポーツクラブ補助金を活用し、子どもから高齢者まで誰もがそれぞれのニーズに応じて気軽にスポーツに親しめる環境を整えている。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>・朝のストレッチ・ヨーガ教室</td> <td>通年 40 回 27 人</td> <td>・ピラティス教室</td> <td>通年 40 回 36 人</td> </tr> <tr> <td>・ストレッチ・ヨーガ教室</td> <td>通年 40 回 33 人</td> <td>・エンジョイ吹き矢教室</td> <td>通年 20 回 9 人</td> </tr> <tr> <td>・らくらくエアロビクス教室</td> <td>通年 40 回 13 人</td> <td>・キッズダンス教室</td> <td>通年 40 回 79 人</td> </tr> <tr> <td>・貯筋健康教室</td> <td>通年 40 回 16 人</td> <td>・卓球教室</td> <td>短期 10 回 13 人</td> </tr> <tr> <td>・骨盤ストレッチ教室</td> <td>短期 6 回 14 人</td> <td>・はじめてのベリーダンス教室</td> <td>短期 6 回 10 人</td> </tr> </table> <p>(5) スポーツ行事等の年間予定を掲載した河北体育スポーツだよりの発行(全戸配布)、河北町区対抗総合スポーツ交流大会等の結果について、町の広報やホームページ、更には、河北町民体育館玄関にスポーツ情報提供の整備に努めた。</p>	・朝のストレッチ・ヨーガ教室	通年 40 回 27 人	・ピラティス教室	通年 40 回 36 人	・ストレッチ・ヨーガ教室	通年 40 回 33 人	・エンジョイ吹き矢教室	通年 20 回 9 人	・らくらくエアロビクス教室	通年 40 回 13 人	・キッズダンス教室	通年 40 回 79 人	・貯筋健康教室	通年 40 回 16 人	・卓球教室	短期 10 回 13 人	・骨盤ストレッチ教室	短期 6 回 14 人	・はじめてのベリーダンス教室	短期 6 回 10 人
・朝のストレッチ・ヨーガ教室	通年 40 回 27 人	・ピラティス教室	通年 40 回 36 人																	
・ストレッチ・ヨーガ教室	通年 40 回 33 人	・エンジョイ吹き矢教室	通年 20 回 9 人																	
・らくらくエアロビクス教室	通年 40 回 13 人	・キッズダンス教室	通年 40 回 79 人																	
・貯筋健康教室	通年 40 回 16 人	・卓球教室	短期 10 回 13 人																	
・骨盤ストレッチ教室	短期 6 回 14 人	・はじめてのベリーダンス教室	短期 6 回 10 人																	

5、事業の評価

河北スポーツクラブでは、骨盤ストレッチ教室・はじめてのベリーダンス教室を開催し、新たな参加者の確保に努めるとともに固定客を飽きさせないプログラムの実施に取り組んだ。
--

6、今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	キッズダンス教室、ストレッチ・ヨーガ教室、ピラティス教室が好評で、楽しく健康増進に努めているが、今後は、自宅に閉じこもっている方を参加させる教室なども考えていきたい。また、会員同士の交流会や文化的な教室などの開催なども考えていきたい。

事務事業点検・評価調書

1、事業名等

事業名	体育指導・教室事業
-----	-----------

所管課・係	生涯学習課 社会体育係
-------	----------------

施策体系 教育振興 計画	6 活力ある生涯スポーツの推進 ・生涯スポーツの推進
--------------------	-------------------------------

予算科目	款	10	教育費
	項	5	保健体育費
	目	1	保健体育総務費

2、事業の概要

事業目的	町スポーツ推進委員の社会体育事業への参画と青少年スポーツの振興
事業内容	町スポーツ推進委員の河北スポーツクラブへの育成、指導、助言及び青少年スポーツの育成

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	491	補正額等	△137	合計	354	決算額	354
-------	-----	------	------	----	-----	-----	-----

4、事業の実施状況

- (1) 町スポーツ推進委員は、区対抗総合スポーツ交流大会等の社会体育事業への参画及び総合型地域スポーツクラブの育成、指導、助言に努めた。
- (2) スポーツ少年団の育成事業を行う経費に対して、補助金を交付するとともに、団員募集チラシの発行、本部員会、代議員会、合同結団式、スポーツ少年団の今後の展望についての講習会、指導者協議会、母集団研修会などを開催し、青少年スポーツの振興と青少年の心身の健全な育成を図った。

5、事業の評価

- (1) 町スポーツ推進委員の社会体育事業への積極的な参画、河北スポーツクラブへの育成、指導等によりスムーズな事業展開が図られた。
- (2) スポーツ少年団の育成事業については、少子化の影響で団員数が減少傾向にあるが、各単位団とともに指導者、母集団が一体となって、青少年の健全育成を図った。

6、今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	スポーツ少年団は、勝敗にこだわる事よりもスポーツの楽しさを追及した運営が中心となり、種目も複数取り入れたものとする必要がある。

事務事業点検・評価調書

1、事業名等

事業名	各種大会開催事業
-----	----------

所管課・係	生涯学習課 社会体育係
-------	----------------

施策体系 教育振興 計画	6 活力ある生涯スポーツの推進 ・生涯スポーツの推進
--------------------	-------------------------------

予算科目	款	10	教育費
	項	5	保健体育費
	目	1	保健体育総務費

2、事業の概要

事業目的	区対抗関係大会を通しての、地域住民の世代間交流と長距離選手の育成強化
事業内容	各種大会を通して、町民の融和と親睦を深め、健康増進と明るい町づくりの推進

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	2,164	補正額等	△51	合計	2,113	決算額	2,109
-------	-------	------	-----	----	-------	-----	-------

4、事業の実施状況

- (1) 第32回へに花杯近隣市町ゲートボール大会を16チームの参加で開催し、愛好者が大会を通して、チーム相互の親睦と技術の向上に努めた。
 ①開催期日 平成28年7月13日(水)
 ②開催場所 ひなの湯東公園
- (2) 第21回河北町区対抗総合スポーツ交流大会を開催し、地域住民の世代間交流を図り、町民の融和と親睦を深め、健康増進と明るい町づくりの推進に努めた。
 ①開催期日・平成28年6月5日(日) 輪投げ大会 146チーム(前年度150チーム)
 ・平成28年8月21日(日) スカットボール大会 135チーム(前年度122チーム)
 ・平成28年11月27日(日) ダーツ大会 159チーム(前年度165チーム)
 ・平成29年1月15日(日) シャフルボード大会 148チーム(前年度142チーム)
 ②開催場所 河北町民体育館
- (3) 第61回山形県縦断駅伝競走大会で、寒河江西村山チームが11チーム中総合6位の成績であった。
 ①開催期日 平成28年4月27日(月)から29日(祝・水)
 ②開催場所 県内一円
- (4) 第33回山形県女子駅伝競走大会で寒河江西村山チームが11チーム中4位の成績であった。
 ①開催期日 平成28年11月20日(日)
 ②開催場所 山形市周辺
- (5) 第63回西村山地区駅伝競走大会に本町より2チーム参加し、10チーム中、Aチームが4位、Bチームが8位の成績であった。
 ①開催期日 平成28年11月13日(日)
 ②開催場所 西村山管内一円
- (6) 第19回山形県ジュニア駅伝競走大会に本町より男女各1チーム参加し、男子34チーム中16位、女子34チーム中21位の成績であった。
 ①開催期日 平成28年8月7日(日)
 ②開催場所 蔵王坊平ク로스カントリーコース

5、事業の評価

河北町区対抗総合スポーツ交流大会は、700名から1000名近くの参加者となり大変盛り上がる大会に成長してきている。地域交流も含め生涯スポーツの振興に一役買っているものと評価している。

6、今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	河北町区対抗総合スポーツ交流大会は、時間短縮も考慮しながら、参加者が楽しく半日過ごせる大会運営に努めたい。

事務事業点検・評価調書

1、事業名等

事業名	べに花関係大会開催事業	所管課・係	生涯学習課 社会体育係
-----	-------------	-------	----------------

施策体系 教育振興 計画	6 活力ある生涯スポーツの推進 ・生涯スポーツの推進	予算科目	款	10	教育費
			項	5	保健体育費
			目	1	保健体育総務費

2、事業の概要

事業目的	べに花文化の意識の高揚
事業内容	べに花関係大会を通して、スポーツの振興と町の活性化

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	1,450	補正額等	0	合計	1,450	決算額	1,450
-------	-------	------	---	----	-------	-----	-------

4、事業の実施状況

- (1) 県内外から主催者が認めた優秀チームを招聘し、町内の小中高校生の卓球のレベルアップを図ることを目的に、第29回べに花杯卓球大会を開催した。
- ①開催期日 平成29年3月18日(土)・19日(日)・20日(月/祝)
- ②開催場所 河北町民体育館
- ③参加チーム ・小学男子 14チーム ・小学女子 13チーム
・中学男子 27チーム ・中学女子 26チーム ・高校女子 12チーム
- (2) 第35回べに花マラソン大会を開催し、町の紅花文化の意識を高めるとともに、スポーツの振興と町民の融和を図り、町の活性化に努めた。
- ①開催期日 平成28年7月3日(日)
- ②開催場所 河北町民体育館周辺
- ③参加者数 853人(前年度896人)

5、事業の評価

べに花マラソン大会は、ここ数年850名を超える参加者となっており定着してきている大会と評価しています。その中でも町外からの参加者が500名を超えておりべに花PRもはかられているものと考えています。

6、今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	今後もファミリーマラソンという位置付けで、楽しく走れるような参加して良かったと言ってもらえるような運営に努めたい。

事務事業点検・評価調査

1、事業名等

事業名	体育施設事業	所管課・係	生涯学習課 社会体育係
施策体系 教育振興 計画	6 活力ある生涯スポーツの推進 ・生涯スポーツの推進と施設の充実	予算科目	款 10 教育費 項 6 保健体育費 目 2 体育施設費

2、事業の概要

事業目的	体育施設の適正な維持管理
事業内容	指定管理者制度を導入し、(株)河北町べに花の里公社に管理及び運営を委託し、河北町体育施設の適正な維持管理を確保しつつ、住民サービスの向上に努める。

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	73,778	補正額等	1,774	合計	75,552	決算額	75,544
-------	--------	------	-------	----	--------	-----	--------

4、事業の実施状況

<p>(1) (株)河北町べに花の里振興公社に、河北町体育施設の管理及び運営を委託し、体育施設の適切な管理を確保しつつ、住民サービスの向上に努めた。</p> <p>①河北町民体育館 利用件数 1,207 件(前年度 1,035 件)利用者数 56,442 人(前年度 49,159 人)</p> <p>②サン・スポーツランド河北町民野球場 利用件数 102 件(前年度 102 件) 利用者数 6,672 人(前年度 5,383 人)</p> <p>③サン・スポーツランド河北町民テニスコート 利用件数 780 件(前年度 888 件) 利用者数 8,051 人(前年度 9,947 人)</p> <p>④河北町野球場 利用件数 42 件(前年度 102 件) 利用者数 562 人(前年度 1,625 人)</p> <p>⑤遊蔵屋内運動場 利用者数 6,953 人(前年度 6,759 人)</p> <p>⑥町民プール 利用者数 24,847 人</p> <p>(2) 河北町民体育館の監視モニター修繕・非常用自家発電設備保守点検整備・研修室ブラインド修理・小体育館天井修繕・ステージ脇収納壁修繕・階段非常用 LED 照明交換、サン・スポーツランド河北のテニスコート人工芝部分修繕・トランペットスピーカー修繕を実施し、利用者の安全確保と利用促進に努めた。また、低濃度 PCB 汚染廃電気機器等収集運搬・低濃度 PCB 汚染廃電気機器等処理等も実施した。</p>

5、事業の評価

<p>体育施設の目的である競技スポーツ、生涯スポーツ等がより利用しやすく、また多くの人に親しんでいただける維持管理に努めたい。</p>

6、今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>施設の老朽化により、大規模修繕に努めたい。</p>

事務事業点検・評価調書

1、事業名等

事業名	旧町民プール事業
-----	----------

所管課・係	生涯学習課
	社会体育係

施策体系 教育振興 計画	6 活力ある生涯スポーツの推進 ・生涯スポーツの推進と施設の充実
--------------------	-------------------------------------

予算科目	款	10	教育費
	項	5	保健体育費
	目	2	体育施設費

2、事業の概要

事業目的	町民の健康の保持増進
事業内容	利用者の安全確保と利用促進

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	21,844	補正額等	△932	合計	20,912	決算額	20,912
-------	--------	------	------	----	--------	-----	--------

4、事業の実施状況

(1) 河北町民プール解体工事
(2) 河北町民プール光熱水費

5、事業の評価

河北町民プールの解体工事を安全に実施した。

6、今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	解体後は更地とし今後の利活用について検討中。

事務事業点検・評価調書

1、事業名等

事業名	新河北町民プール整備事業	所管課・係	生涯学習課 社会体育係
施策体系 教育振興 計画	6 活力ある生涯スポーツの推進 ・生涯スポーツの推進と施設の充実	予算科目	款 10 教育費 項 05 保健体育費 目 02 体育施設費

2、事業の概要

事業目的	町民の健康の保持増進
事業内容	利用者の安全確保と利用促進

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	2,500	補正額等	△406	合計	2,094	決算額	2,094
-------	-------	------	------	----	-------	-----	-------

4、事業の実施状況

●外構工事費	2,093,040 円
--------	-------------

5、事業の評価

河北町民プールの外構工事に取り組んだ。

6、今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	河北町民プール工事については完了となる。

事務事業点検・評価調書

1、事業名等

事業名	スポーツ振興事業	所管課・係	生涯学習課 社会体育係
施策体系 教育振興 計画	6 活力ある生涯スポーツの推進 ・ 体育協会、スポーツ少年団活動の支援 ・ 生涯スポーツ活動の情報提供	予算科目	款 10 教育費 項 5 保健体育費 目 3 スポーツ振興費

2、事業の概要

事業目的	中学校運動部活動、体育協会加盟団体の生涯スポーツの振興
事業内容	各種スポーツ大会出場激励金、垂れ幕掲示 河北町スポーツ選手育成強化事業補助金、河北町生涯スポーツ振興事業補助金の交付

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	4,610	補正額等	59	合計	4,669	決算額	4,575
-------	-------	------	----	----	-------	-----	-------

4、事業の実施状況

(1) 各種大会支援
①町の支援として世界、アジア、全国スポーツ大会出場選手に激励、健闘を祈るため激励金を支給し、本町のスポーツの振興を図った。また、世界的、全国的規模の競技スポーツ大会において、優れた成果を挙げ、本町のスポーツ振興・発展に寄与した個人または団体名を垂れ幕で役場庁舎前に掲示し、広く町民に周知した。 ・ 激励金支給者 小学生9人、中学生44人、高校生28人、成年2人、合計83人 (前年度39人) ・ 垂れ幕掲示本数 世界的規模1本、全国的規模24本 合計25本(前年度23本)
(2) 中学校運動部活動、体育協会加盟団体の生涯スポーツの振興
①河北中学校のスポーツを振興するため、強化練習会、遠征、選手派遣、研修会、講習会等の選手育成強化事業を行う経費に対して補助金を交付し、河北中学校運動部活動の更なる競技力向上に努めた。 ②日常生活に定着したスポーツ活動を振興するため、強化練習会、大会開催、選手派遣、指導者養成研修会、講習会等の事業を行う経費に対して体育協会に補助金を交付し、生涯スポーツの振興を図った。

5、事業の評価

河北町スポーツ選手育成強化事業補助金、河北町生涯スポーツ振興事業補助金ともに有効活用していただいております、競技力向上に大きな成果を挙げている。

6、今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	激励金支給・垂れ幕掲示は、スポーツ選手の励みになるため引き続き継続して支給していきたい。